地域環境保全活動における協働形成の予備考察

坂本真理子（㈲環境とまちづくり・主任研究員）　澤田俊明（㈲環境とまちづくり・徳島大学客員教授）
大西舞（徳島大学大学院・修士課程）渡辺雅子（阿南工業高等専門学校・研究員）

協働・協働形成のフレーム（予備考察）



背景と本研究の目的　1

- 公共事業や市民活動，企業活動等において「協働」が不可欠となっている
- そのため、「協働」についての調査・研究が必要となっている
- 「協働」・「協働形成」の骨格構造を明らかにする
- （展望）「協働」・「協働形成」の価値が明らかになり、適切に「協働」が推進される

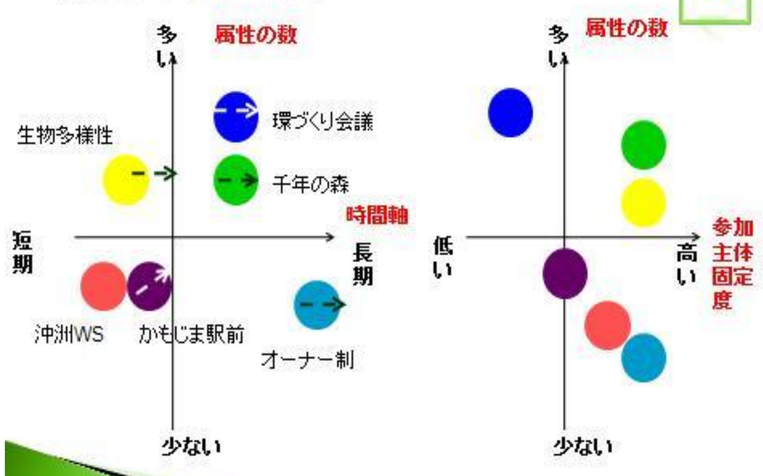
類型化の予備考察　2

- 類型化の視点
  - 短期完結型（1~3年）、中期型（3~5年）、継続型（5年以上）・・・時間軸
  - 環境保全型、地域再生型・・・テーマ別
  - 行政主導型、市民主導型・・・主体属性軸（行政の関与）
  - 組織所属型、個人所属型・・・属性の形態
  - 主体固定型、主体非固定型・・・主体参加特性
  - 目的既存型、目的創造型・・・・目的共有時期
  - 事業既存型、事業創造型・・・事業特性
  - 自力意思決定型、他力意思決定型・・・意思決定
  - 1点集中型、分散型・・・・協働コーディネータの存在
  - 有償型、無償型・・・協働コーディネーターの人件費

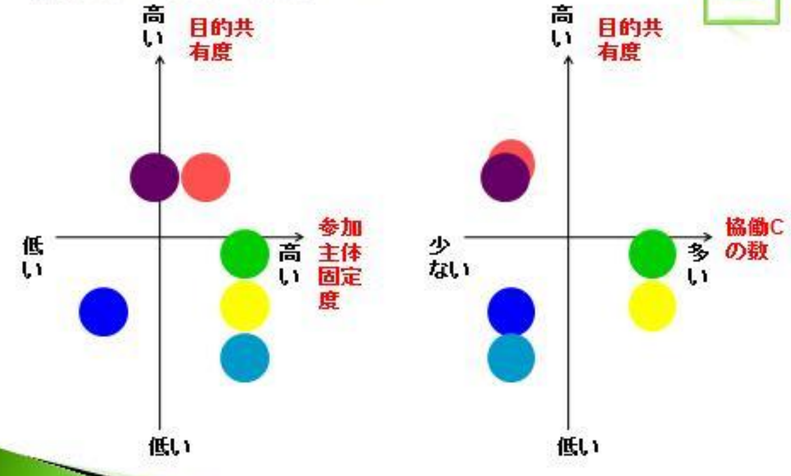
協働の類型例－1　2

事例	テーマ別	時間軸	行政の関与	属性の形態	主体参加特性	目的共有時期	事業の意思決定権	協働Cの存在	人件費
高丸山千年の森	環境保全・地域再生	継続型	市民主導型	組織	非固定	既存	あり	分散	あり
沖洲人工海浜利用WS	環境保全	短期完結型	行政主導型	個人	固定	既存	なし	1点	あり
環づくり会議	環境保全	継続型	行政主導型→市民主導型	組織・個人	非固定	協働で創る	あり	分散	あり
オーナー制度	地域再生	継続型	市民主導型	個人	固定	協働で創る	あり	1点	なし
生物多様性とくしま会議	環境保全	中期型	市民主導型	組織	固定	協働で創る	あり	1点	なし
かもじま駅前会議	地域再生	継続型	市民主導型	個人	非固定	協働で創る	あり	1点	なし

協働の類型例－2　2



協働の類型例－3　2



協働・協働形成のフレーム（予備考察）　3

用語	用語の定義	内容・構成要素
○協働	・複数の異なる属性の組織や個人が、ひとつの目的を共有し、協力して活動している状態 ・かつ、これらが自己意志決定している状態	●A協働の構成者 ・複数の異なる属性の組織や個人 ●B協働成立要因（協働の状態を成立させるもの） ・目的共有・活動協力・自己意志決定（事業決定の意思決定）
○協働形成	「協働」を形成すること	●C協働形成対象（協働形成の対象） ●D協働形成要因（協働形成を維持・促進・実現するもの）
○協働プロセス	「協働」が進展する経過	●E事業実施プロセス ●F協働維持プロセス（B協働成立要因＋D協働形成要因）
○協働インパクト	「協働」「協働形成」で発生する効果	正のインパクト：関係者の正の相互変容、達成感、ほか 負のインパクト：関係者の負の相互変更、失望感、ほか
○協働コーディネーター	「協働」の計画、推進、調整等を行う	

協働形成とは　3

●C　協働形成対象（協働形成の対象）
主体形成、事業形成（個別事業テーマ決定、実施）、主体間合意形成、役割分担形成、協働ルール形成、協働ガイドライン形成、情報共有形成（内部、外部）、その他

●D　協働形成要因（協働形成」を維持・促進・実現するもの）
（直接要因）
協働コーディネート、パッション、連携・信頼（社会関係資本、ネットワーク）、知恵（技術）、継続的資金
（支援要因）
連携ネットワーク

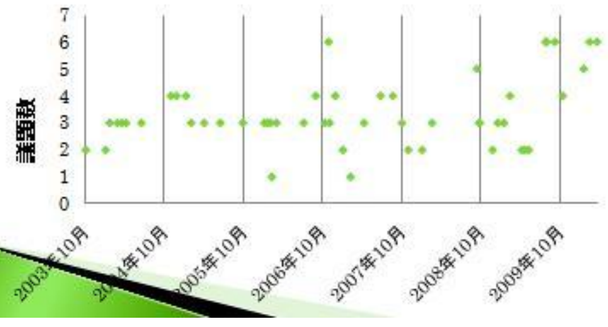
協働プロセス　3

- E事業実施プロセス
  - 事業推進
  - PDCAサイクルの実行
- F協働維持プロセス
  - B協働成立要因（目的共有、活動協力、自己意思決定）を充足させるプロセス、場づくり
  - D協働形成要因（協働コーディネート、パッション、連携・信頼、知恵、継続的資金）を充足させるプロセス、場づくり

オーナー制（上勝町樫原の事例）では、協働維持プロセスがなかったために、農家、NPO事務局の意欲が低下、課題ばかりが浮き彫りになり、目的を見失っている局面が生じた

協働プロセス～オーナー制における検証事例～　3

「樫原を語る会」における議題の個数の推移より
・議題が増えている・・・**発言時間が少なくなる**
・行政あるいは補助金によるプロジェクトが多くなっている・・・**農家主体のプロジェクトでない**、内容が難しい
・オーナー制は定期的な合同イベントのみの打ち合わせ・・・**振り返りや展望などを考える場がない**



既存の知見　3

世古一穂／特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター代表理事
●協働とは
・市民・NPO・企業と行政がお互いに理解し合いながら共通の目的を達成するために協力して活動すること．
・社会の課題の解決にむけて，それぞれの自覚と責任の下に，その立場や特性を認め合い，目的を共有し，一定の期間，積極的に連携・協力すること

あいち協働ルールブック2004 ～NPOと行政の協働推進に向けて～
●協働とは
・協働とは、様々な主体が、主体的、自発的に、共通の活動領域において、相互の立場や特性を認識・尊重しながら共通の目的を達成するために協力することを言う。

杉原五郎／「地域のチカラ」
●まちづくりの成功の方程式
•社会的使命感
•情熱
•知恵
•連携
•循環的資金

紙野健二／「協働の概念と定義の公法学的検討（法政論集225号）
●協働の三要素
•主体の複数性
•公共目的の共有
•相互協力